

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 23日

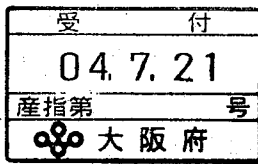
大阪府知事 殿

提出者 山崎製パン株式会社大阪第二工場
住 所 大阪府松原市三宅東2丁目1835-5

氏 名 執行役員工場長 伊藤 利宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-332-5561



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社 大阪第二工場
事業場の所在地	大阪府松原市三宅東2丁目1835-5
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09：食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷金額 35,800百万円
③従業員数	1,709人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙：フロー図

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)別紙 各課より環境推進委員を選出して、廃棄物を中心に環境問題について1か月に2回環境推進会議、環境研修を実施している。会議とは別に環境パトロール、節電パトロールを実施して分別、節電の徹底を強化している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1か月に2回の会議、研修内容を充実させる事により産業廃棄物の排出量軽減を図っていく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ、ガラス、乾電池、蛍光灯、動植物性残渣の分別が一目でわかるようにリサイクルセンターに掲示しており、各課にも見取り図を配布している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き分別の徹底をはかっていきます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

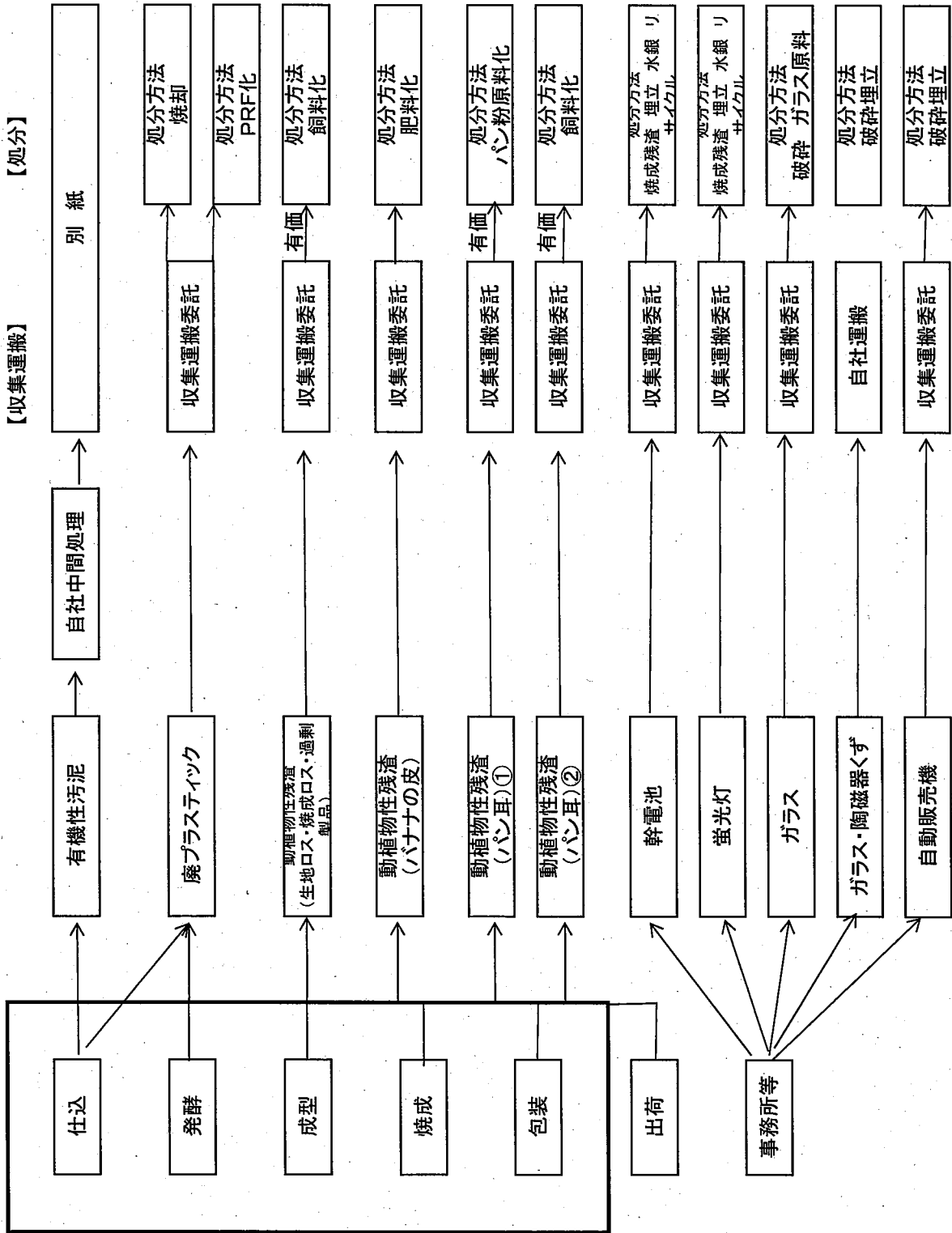
①現状	【前年度（ 年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理工程

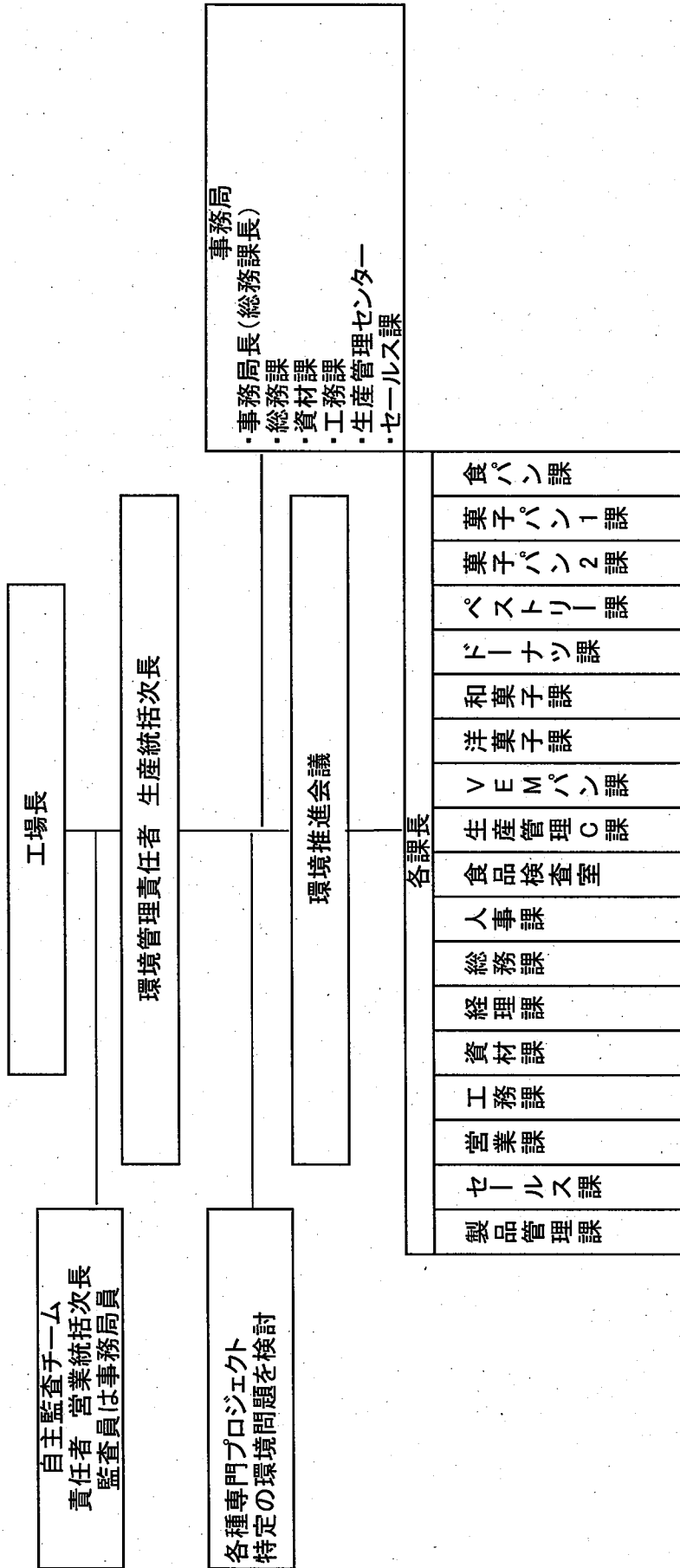


【処分】

【収集運搬】

生産ライン

環境推進会議組織



工場長

環境管理責任者 生産統括次長

自主監査チーム
責任者 営業統括次長
監査員は事務局長

各種専門プロジェクト
特定の環境問題を検討

環境推進会議

各課長

- 食パン課
- 菓子パン1課
- 菓子パン2課
- ペストリー課
- ドーナツ課
- 和菓子課
- 洋菓子課
- VEMパン課
- 生産管理C課
- 食品検査室
- 人事課
- 総務課
- 経理課
- 資材課
- 工務課
- 営業課
- セールス課
- 製品管理課

事務局

事務局長 (総務課長)

・事務課

・総務課

・資材課

・工務課

・生産管理センター

・セールス課

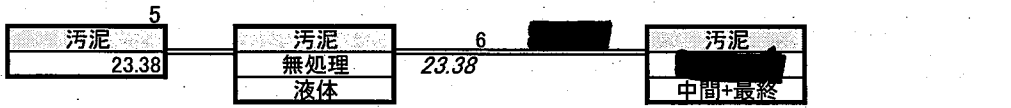
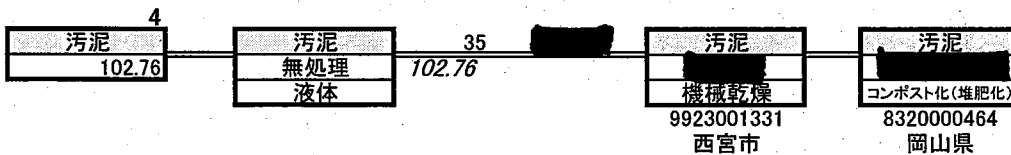
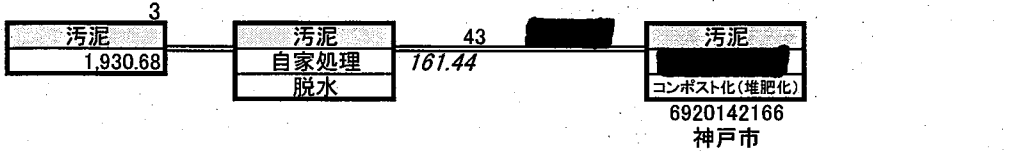
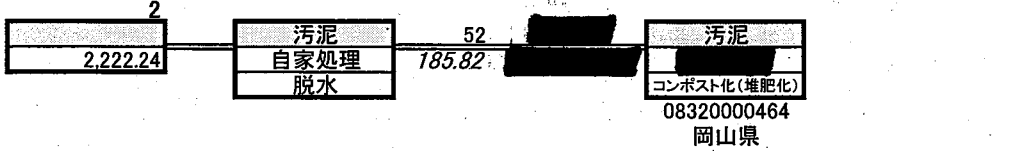
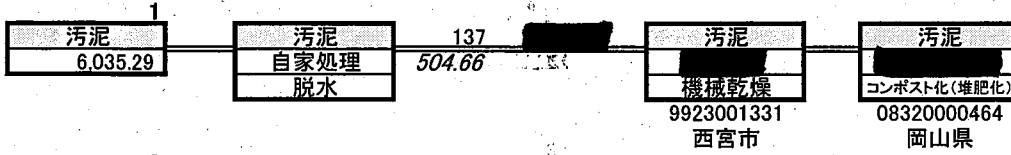
[Redacted] ルート	発生量	搬出量
	10,314.35	978.06

発生量

自家処理

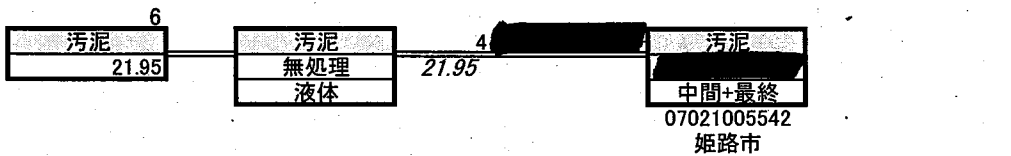
処分

再生利用・最終処分

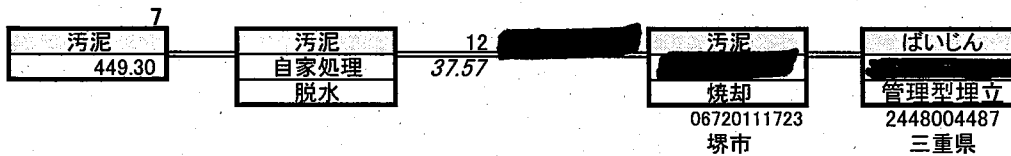


姫路市

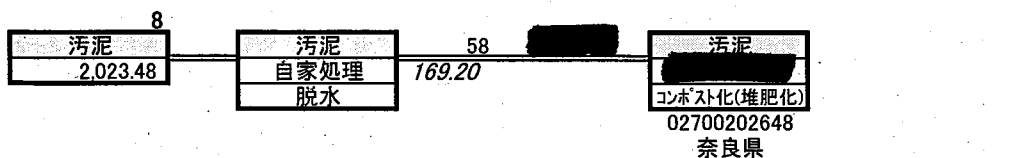
[Redacted] ルート [Redacted] 窓口)	発生量	搬出量
	21.95	21.95



[Redacted] ルート	発生量	搬出量
	449.30	37.57



[Redacted]	発生量	搬出量
	2,023.48	169.20



合計	発生量	搬出量
	12,809.09	1,206.78

産 業 棄 廃 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

住 居 地 区	理 出 場	理 出 場 場 所	電 話 番 号	FAX	電 子 メール アドレス
大府府政庁第3号第1丁目1835番地の5	産業廃棄物を出する事業場を総務部に管理する支店等管理する支店等の名称 山崎製パン株式会社 大府第二工場	産業廃棄物を出する事業場を総務部に管理する支店等の名称 山崎製パン株式会社	077-337-5481	077-338-0000	

コード	品 名	① 発生		② 中間処理		③ 最終処分		④ 中間処理		⑤ 発生		⑥ 中間処理		⑦ 最終処分		⑧ 備考	
		発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生		
1	210 有機性汚泥	12,609		11,602	1,207	10,995		2,414	1,959		229	1,173		0	0	0	
2	600 焼プラスチック	1,009				0		1,009	38		973				0	0	
3	1300 ガラスくず	5				0		5	3						0	0	
4	3820 乾電池	1				0		1	1						0	0	
5	3111 蛍光灯	1				0		1	1						0	0	
6	1000 動植物性残渣	297				0		297							297		
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
	合計	14,122	0	11,602	1,207	10,995	0	3,728	1,100	0	1,202	0	0	0	2,484	0	0

(注)1)トン単量は原則として四捨五入、ただし、数字が専断であれば小数点以下3桁まで記載は可。
 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に併し、直接追加入力するとともに、新画面も追加してください。

今年度【2022年度】目 録

種 別	種 名	種 別	種 名
種別	種名	種別	種名
種別	種名	種別	種名
種別	種名	種別	種名

コード	品名	計										⑪⑫	⑬⑭	⑮⑯	⑰⑱	⑲⑳		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩							
1	①有機性汚泥	11,528		10,441	10,441	1,086	9,355	2,173	953	206					1,056		0	0
2	②廃プラスチック	908					0	908	32	876					908		0	0
3	③ガラスくず	5					0	5	3						3		0	0
4	④乾電池	1					0	1	1						1		0	0
5	⑤蛍光灯	1					0	1	1						1		0	0
6	⑥動植物性残渣	267					0	267							267		0	0
7							0										0	0
8							0										0	0
9							0										0	0
10							0										0	0
11							0										0	0
12							0										0	0
13							0										0	0
14							0										0	0
15							0										0	0
16							0										0	0
17							0										0	0
18							0										0	0
19							0										0	0
20							0										0	0
	合計	12,710	0	10,441	10,441	1,086	9,355	3,355	991	1,082	0	0	0	2,236	0	0	0	0

(注1)①～⑯は原則として明細記入、ただし、数量が等価であれば数量以下は桁まで記載は可。